

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターさくら草保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	令和6年11月12日		～ 令和6年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年11月12日		～ 令和6年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月12日		～ 令和6年11月22日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援職員を対象とした研修会の開催や、保有するケースに関して助言を受ける会議を定期的に設ける等して、訪問支援員の質の向上を図っている。	訪問支援員から学びたいテーマを出し合い、訪問支援に特化した研修を企画。専門職の先生に講師を依頼し、受講している。その他にも年度ごとに発達におけるテーマを設けて、研修を受講している。	小学校等への訪問を想定し、学校という組織への理解を深めるための情報収集を行う他、年齢期の児童の発達等に関する研修に参加し、技量を高めていく。
2	緊急性の高いケースや、訪問頻度を上げた方がよいと判断されるケースには、職員間で調整を図り、迅速に訪問するようにしている。	児童の置かれている状況によっては、他の業務との調整を図ることで対応できる職員を配置し、園と早急に調整を行って訪問を実施している。訪問結果の報告面談も早めに行い、保護者の不安払拭に努めている。	面談前には他の訪問支援員や療育センターの専門職にアドバイスを受ける等して、状況の整理を行い、園側への的確な助言が行えるようにする。
3	個別支援計画については、全職員で共有を図っている。作成者は他職員から助言を受けることができ、確認する側は自身の対象児の参考とすることができる。	共有された個別支援計画の児童の集団における様子や発達段階が、自身の担当する児童に近い状況であれば、計画の支援方法からヒントが得られたり、作成者に相談するきっかけにもなり、支援に生かされている。	訪問支援員間だけでなく、相談支援事業所とも連携を図り、児童・保護者の意向を十分に踏まえた個別支援計画の作成を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の適応行動の状況把握が、インフォーマルなアセスメントのみで行われることが多い。	児童の行動観察や、保護者への聞き取りを中心にアセスメントを行うことが多いため、客観的な視点での把握という点で、弱さがあると考えられる。	訪問支援員が使いやすく、標準化されたフォーマルアセスメントツールの選定を早急に行い、使用を開始する。
2	転居や就学を控えた児童の、移行先への情報提供や共有について、先方と直接やりとりをする機会があまりない。	就学等で環境が大きく変わる児童に対しては、保護者へ丁寧に助言を行い、場合によっては移行後も電話による相談を受けることもあるが、先方との直接的なやりとりはあまり行っていない。	転居や就学を控えた児童の保護者に対しては、移行先に報告書の提示が可能であることを伝えるとともに、保護者の了承があれば移行先と情報共有ができることを説明する。また、移行後も必要であれば相談に応じ、より適切な機関に繋ぐといった対応が可能であることを伝えていく。
3	家族の対応力を向上させる研修等に関して、保有する情報量も少ないため、適切に提供できていないと思われる。	保護者のニーズとして、相談支援事業や児童発達支援に関する相談はよくあり、紹介もを行っている。ペアレントトレーニング等については、直接ご要望の声はあがってはいなかったが、今後情報を提供していく必要があると考える。	ペアレントトレーニングや家族向けの研修の情報収集に努め、訪問支援員間で共有を図る。また研修以外でも、子どもとの関わり方のアドバイスとなるような題材、情報等があれば共有し、必要とされる保護者に提供していく。

事業所名 療育センターさくら草保育所等訪問支援事業

公表日 令和 7年 2月 1日

利用児童数 27 令和 6年 11月 22日

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	2	0	3	・教材教具を見たことがない。	・教材等についてご説明が不足して申し訳ありませんでした。お子さんの状態によっては、姿勢保持や用具の保持がしやすくなる補助具等を提供するといった支援も行っています。今後、保護者の方へのご説明をより詳しく行っていきます。
	2 ブライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6	1	0	0	・パーテーションはあるが、個室ではない。	・個室のご用意ができない時があり、申し訳ありませんでした。今後、面談室が満室の場合は保育室をご案内する等して、個室にて対応させていただきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	1	0	0		
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4	2	1	0	・人が足りていない印象を受けました。 ・頻度が少ないので、もう少し人員がいてもいいと思う。 ・何名いるかわからない。	・人員配置について、ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。担当職員は7名おりますが、7名とも他事業を兼務しており、ご不便をおかけしております。今後、訪問時期等のご意向をしっかりと確認させていただき、速やかに対応できるよう努めて参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0	・頻度がもう少し上がっても良い。	・訪問の頻度がご要望に添えず申し訳ありませんでした。訪問支援員の業務の状況等を事前にご説明するとともに、緊急性の高い場合は、すぐ対応できる訪問支援員が向向く等の方法も検討して参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	1	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1	0	0	・保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容が何を指すのかわかりません。	・保育所等訪問支援ガイドラインの内容についてご案内ができておらず、申し訳ありませんでした。「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」については次回面談時、皆さまにお配りさせていただきますので、ご確認よろしくお願いたします。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1	1	0	・覚えていない。	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	3	2	1	・自分から情報を取りに行かないと情報が入ってこない。 ・存在を知らない。	・情報提供が足りず、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。療育センター内の保護者向け勉強会や、その他の研修等についても、情報がありましたらご案内して参ります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	5	2	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1	0	0	・とても話しやすく心強いです。 ・共感的に支援が、の文章が分からない。	・ご意見ありがとうございます。お子さん、保護者の方のお気持ちに沿った支援ができるよう、今後とも努めて参ります。
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1	0	1		
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	1	0	・担当者とのやりとりが電話のみ、仕事をしていると電話するタイミングがなかったりする。メールでのやりとりがあっても良いと思う。(もっとオンライン化が進んで欲しい)	・連絡に関してご不便をおかけして申し訳ありませんでした。今後はメール等も使用できるよう、準備をして参ります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	2	2	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	5	・緊急時の対応について確認していなかったで、次回確認したいです。	・緊急時の対応についての情報提供が十分でなく、申し訳ありませんでした。訪問時に緊急事態が生じた場合ですが、お子さんと同じように、訪問支援員も訪問先の職員の方の指示に基づいて対応させていただきます。また、援護や救護が必要な状況であれば率先して協力させていただきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	4		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	6	1	0	0	いつも子どもが楽しく療育に通っています。療育に通って療育に対する考えも変わり、受けて良かったと思っています。いつもありがとうございます。 ・いつも気にかけてくれ、優しく支援していただいているので感謝しています。	・ご意見ありがとうございます。お子さんの周囲の環境が整い、ご自身の力を発揮されて楽しく過ごせるよう、努めて参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和 7 年 2 月 1 日	
療育センターさくら草保育所等訪問支援事業		利用児童数			25 令和 6 年 11 月 18 日 回収数 22	
チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	20	0	2	<p>・園の保育者の対応等の良い面をお話頂いたり、本児の課題を明確にしてもらいました。・園での様子、対象児の前回の様子からの成長を共有できて良かったです。・気になっていることがリアルタイムに伝えて頂けることに参考と安心と両方感じられた。・たんぼ園での生活、遊びの様子を教えていただいたり、絵カードやジェスチャーについて教えていただき実践で役立つことを教えていただきありがとうございます。・こちらの意図を汲んでアドバイスも頂いているので、とてもありがたいです。・的確なアドバイスを頂けるが、中には「園では取り入れにくい」ものもあり、対象児にとってより良い援助をすることが難しかった。・しっかりと観察していて、情報共有の際共感ができ、子ども対応と課題の参考になります。・すぐに実践できそうなことを教えていただいて、実際に行っています。・実際の関わり方をみてもらい助言をうけたので、日常的に取り入れていくことが出来た。・子どもと友だち関係を含めてしっかりと観察していただき、ご助言を実践に活かしております。・施設でどのような対応をしているか聞くことで保育の参考になり、実践しやすい。・普段の保育で気をつけられるようにアドバイスをしてもらえるので、参考になります。・普段の保育で気をつけられるようにアドバイスをしてもらえるので、参考になります。的確なアドバイスがあり良かった。・親子の姿も含め、話してくれました。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。お伝えさせていただいた内容が、園の体制や環境によっては取り入れることが難しいものもあるかと思えます。そのような時は、是非遠慮なくお伝えください。お子さんにとってよりよい支援を一緒に考えさせていただきますと思います。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	20	0	2	<p>・お子さんの発達を促す中で股関節の動かし方がずりばいと四つ這いで違う事。四つ這いを促す為の具体的な方法のアドバイス。また摂食については、砂を食べてしまう事と食事の丸のみが舌の感覚の鈍さや、動かし方の未熟さまで丁寧に教えて頂いたこと。・支援学校のことや、実践的な助言をたくさんいただきました。・いつも的確なアドバイスをいただいています。保育の際に関わりを実践しています。・園での様子を伝えたり、対応に困った事例を伝えたりすると、対象児の特性を踏まえて、ご助言いただけたから。・知識に関しては専門外なので職場に戻ってから聞いてみます、と頼りがいのある返答に好感を持てます。ネットワークの大切さと必要性を実感しています。・専門の方ならではの話を聞くことができ、ありがたく思います。・自分達にはない保育の視点を知ることが出来た。・こちらの質問に対し、専門外の質問に対して応えられないとおっしゃいますが、支援に責任を持っていることを感じます。専門的な知識や考察に満足しています。・専門的にご意見をいただくと納得できる。・専門的なことを具体的に話してくれました。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。いただいたご質問に対して、より専門的な回答が必要な場合は、持ち帰らせていただくために少々お時間をいただくことに、ご理解いただきありがとうございます。今後もお子さんに対して、適切な支援の提案ができるよう精進して参ります。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	21	0	1	<p>・クラス内で食事の様子として介助者と対象者の位置のアドバイスと食事を見ないで食べる事への疑問に、トレイの位置のアドバイスは即効性が感じられたとのことであった。・質問した内容に丁寧に答えていただきました。・保育を見て頂きながらその時に教えていただきたい事にも答えて下さったり、午睡時間にカンファレンスを行いその中で質問に対してアドバイスを頂いています。・質問にはわかりやすく説明してくださっています。・できれば専門外の質問に対してチームで情報共有し、園に返していただけるとありがたいです。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。専門外のご質問に関しましては、センターに持ち帰らせていただき、情報共有をさせていただき、後日お答えさせていただくようにいたします。</p>	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	20	0	2	<p>・依頼は保護者の方なので日常の保育の様子を見て頂いた ので困りごとが解消されたかというとまた少し違う感覚で す。・対象者の課題を見て直接アドバイスが頂けたので解 消したようです。・食事のことで、立ち歩きが多かったで すが、助言をいただいたことで落ち着いて食べることがで きたり、下膳ができるようになりました。・対象児の成長 している点と課題となる点が共有できた。特に訪問支援期 間が行事の練習時期であったため、一斉活動をどのように 進めると参加できるのかご助言頂くことができた。・保育 現場でできることを具体的に教えていただき、ありがたく 思っています。・どの様にすれば良いかのヒントを下さっ ています。・訪問支援後の保育にも活かすことができ た。・保護者の情報を詳細に知りたいのですが、実現でき ずにあります。園として保護者対応の在り方が課題としてあ ります。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。訪 問支援は保護者の方の困りごとや心 配ごとに対する支援とはなっていま すが、園の先生方の困りごと等があ りましたら、まずはご相談くださ い。すぐにお答えできるものはお答 えさせていただきますが、内容に よっては、より適した相談先をご紹 介させていただく場合もあります。</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	19	0	3	<p>・継続してアドバイスを頂けるとありがたいです。・担任 と、先生方で話す機会をいただいたことで、本児に対して の理解が深まりました。ありがとうございます。・1日対 象児の様子を見ていただき、その日のうちにカンファレン スにおいて意見交換ができた点は良かった。しかし他児の 様子も合わせて少しばかり相談に乗って頂けると有り難 かった。・とてもありがたく、満足しています。・またお 話を伺う機会がいただけたらと思います。・実際にさくら 草で関わっているOTの方との情報共有ができると更によ い。・子どもの育ちを双方で把握し、共有しながら子ども と保護者を支える関係を構築したいと思います。支援の方 の真摯な姿勢と観察力に学ぶものが多いです。これからも よろしくお願いいたします。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。お 子さんの情報等は保護者の方の同意 をいただいたうえで、必要に応じて 療育センターさくら草の専門分野の 先生方からうかがい、訪問支援に活 かしていきたいと思えます。 ・あたかなご意見をいただき、職 員一同大変励みとさせていただきます。 今後も継続して、園の先生方 とお子さんの支援について一緒に取 組んでいきたいと思えますので、よ ろしくお願いいたします。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 其他のご意見 ご意見を踏まえた対応 </div>						
<p>・久しぶりのカンファレンスで園児を見つめ直す機会を頂きありがとうございます。これからも複数の園児がお世話になると思いますので、宜しくお願ひします。・さくら草を利用するお子さんが増え、他のお子さんもこの制度を利用し園生活が更に充実できるとよいと実感しました。ありがとうございます。・園からの要請で訪問支援を行ってみたい。・対象児の訪問支援期間をあまり先延ばしせず近々(1か月以内程度)に設定して頂きたい。・今後とも宜しくお願ひします。</p> <p>・現在、訪問支援員は療育センターの通園施設の職務を兼任しており、訪問の時期がご希望に添えないことがあり申し訳ありませんでした。なるべくご希望に添えることができるよう、調整して参ります。 ・訪問支援は保護者からの希望でスタートする事業ですが、園の先生方が保護者の方にご依頼して始まるケースもあります。保護者の方にお話される際は、園でのお子さんの状況をお伝えしていただき、お子さんがより豊かな園生活を送れるようにサービスを利用したい旨をお伝えしていただけるとよいかと思ひます。</p>						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育センターさくら草保育所等訪問支援事業					公表日	令和7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・整備・運営・体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	8	1	・姿勢保持や用具の保持がしやすくなる補助具等を提供するといった支援も行っている。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・訪問支援員7名とも他事業を兼務しており、訪問する時期がご希望に添えないこともある。	・訪問支援員の業務の状況等を事前にご説明するとともに、緊急性の高い場合は、すぐ対応できる訪問支援員が出向く等の方法も検討していく。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		・いただいたご意見を職員間で共有し、業務改善に生かしていく。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・職員全員が兼務者であるが、日程を調整して定期的に会議の場を設けている。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	・児童発達支援事業については、第三者評価を受けたが、保育所等訪問支援事業については受けたことがなかった。	・今後、第三者評価の受審を検討していく。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・保育所等訪問に特化したテーマで研修会を開催している。			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	9	0				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・担当者と児童発達支援管理責任者で検討を行い、作成している。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7	2	・計画書作成の時点では、本人と保護者の方のご意向と、発達段階を踏まえて作成することが多かった。支援方法の提案に関しては、園の状況や担任の先生のお考えもろろが、受け入れてもらえるような内容で提示している。	・訪問先の先生方との関係を構築して、担任の先生のご意向も踏まえた個別支援計画の作成を行っていく。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・個別支援計画については、全職員で情報を共有している。			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4	・子どものアセスメントについては、行動観察が中心となることが多い。	・活用しやすい標準化されたアセスメントツールの導入を図る。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	9	0				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	9	0					

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	4	・保育所等訪問支援事業では、これまでサービス担当者会議への出席を求められたことがない。	・依頼があった際は積極的に参加していく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	・引越や就学に伴う移行の際は、保護者の方へ移行先に伝えるべき内容等をアドバイスしているが、移行先の方との直接的な情報交換は行っていなかった。	・保護者の方のご意向も確認したうえで、先方との直接的な情報共有も今後行っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	1	・桜区地域協議会内の子ども部会に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	・ペアレントトレーニング等の案内は行っていなかった。	・保護者向け研修等の情報を収集し、面談の際に希望する保護者にご案内していく。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8	1		
保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	1		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	5		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	9	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	9	0		
訪問先施設への	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	9	0		

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3		・「訪問時に緊急事態が生じた場合、お子さんと同じく施設職員の指示に基づいて対応する」、「状況に応じて救護活動の手伝いを行う」ということを訪問支援員間で共有する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3		・安全な環境のもとで支援をさせていただいているが、気になる点があった場合は、訪問先に確認を行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	3		・訪問支援において、直接的に身体拘束を行うことがない。